

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類		G企画・計画策定・調査研究事業	
事務事業名	都市計画道路整備プログラム		シート番号		019-039		
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画	課	評価責任者(課長名)
							柿本

《 I . 基本情報》

基本 情 報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます		後期実施計画の位置付け	
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成			
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	— 年度		
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	・都市計画法 ・道路法					
	4	関連計画	堺市マスタープラン、堺市都市計画マスタープラン、堺市地域防災計画、震災に強いまちづくり基本計画、堺市津波避難計画、堺市緑の基本計画					
	5	事業実施の経緯	都市計画道路は、都市の骨格を形成する重要な都市施設であり、着実な整備の推進が求められている。限りある財源のもと事業の「選択と集中」を行い、優先度の高い路線を重点的に整備することが求められている。					

《 II . 事業概要》

事業 概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本府	<input type="checkbox"/> 各区	<input type="checkbox"/> 出先機関 ()	<input type="checkbox"/> 市外郭団体	
			<input type="checkbox"/> 地域団体・市民	<input type="checkbox"/> 民間企業・NPO	<input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	道路利用者				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	未着手の都市計画道路の整備方針や優先度を明らかにすることにより、道路整備に対する市民・利用者の理解を深めるとともに、道路整備の透明性を高め、限りある財源の中で、効果的かつ効率的な道路整備を実施することを目的とする。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画道路整備プログラムは概ね5年ごとにプログラムの見直しを行うこととしています。令和3年度に本プログラム策定から5年経過することを踏まえ、社会経済情勢や本市各事業の進捗具合など様々な要因による変化に柔軟に対応するため、令和2年度は本プログラムの見直し案を作成します。 令和元年度 供用路線 大和川線5.8km 鳳上線1.1km 事業認可(着手)路線 常磐浜寺線0.5km 大阪河内長野線(北野田地区)0.7km 錦浜寺南町線0.5km				
	10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 負担金
			<input type="checkbox"/> その他 ()				

《 III . 投入量》

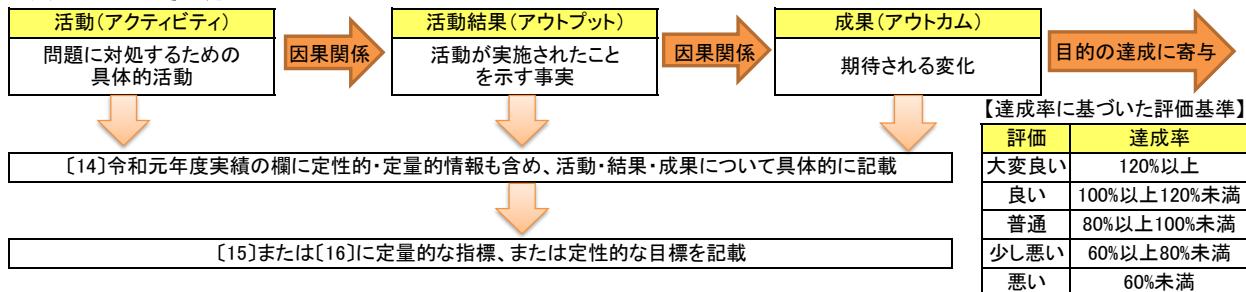
事業 コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	千円	0	0	0	0	0	0	4,000
11	調査委託費	千円	0	0	0	0	0	0	4,000
		千円							
		千円							
		千円							
	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円							4,000
12	人件費 (b)	千円	13,406	13,406	12,360	12,360	6,800	6,803	8,571
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	13,406	13,406	12,360	12,360	6,800	6,803	12,571

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	都市計画道路整備プログラム	シート番号	019-039
-------	---------------	-------	---------

«IV. 評価（測定・分析）»

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績	
14	供用路線 大和川線5.8km 鳳上線1.1km 事業認可(着手)路線 常磐浜寺線0.5km 大阪河内長野線(北野田地区)0.7km 錦浜寺南町線0.5km
15	定性的な目標
16	目標に対する実績 令和元年度 3路線(常磐浜寺線、大阪河内長野線(北野田地区)、錦浜寺南町線)事業認可取得
17	単位 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 目標値 実績値 達成率 評価
18	単位 平成29年度 平成30年度 令和元年度 目標値 実績値 達成率 評価

事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①					
②	上記①にかかる年間経費	千円			
③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)					
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①					
②	上記①にかかる年間経費	千円			
③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) 地元並びに交通管理者など関係機関と協議、調整を重ねた結果、本整備プログラムでの着手予定期間に認可を取得することができた。
----	--

- 【分析のチェックポイント】
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	都市計画道路整備プログラム	シート番号	019-039
-------	---------------	-------	---------

« V. 点検 »

〈点検の前提〉

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	事業廃止の可能性	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	
		休止の場合の再開時期	休止の場合は改善策、その他は理由
20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	都市計画道路整備プログラムは、都市計画決定済みの道路について、優先して整備着手すべき路線と時期を示し、限りある財源の中で、効果的かつ効率的な道路整備を実施することを示すものである。
21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<input type="checkbox"/> コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 本プログラムは、限りある財源の中で、効果的かつ効率的な道路整備を実施することを示すもの。
23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<input type="checkbox"/> 事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 本プログラムの実施手法に基づき、効果的かつ効率的な道路整備を実施することを示すものであるため、改善する必要がない。
効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□)	① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 ④ <input checked="" type="checkbox"/> 関係部署名（自転車環境整備課） 関連事業名（自転車通行環境整備事業） ⑤ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑥ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑦ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	③整備に際しては、自転車レーン整備のタイミングにあわせることで経費の節減を図る。 ④整備に際しては、国交省からの交付金等を充当する予定である。 ⑤都市計画道路整備プログラムに基づき整備しており、サービス水準は同程度である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<input type="checkbox"/> 事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <input type="checkbox"/> 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	所見	都市計画道路整備プログラムは、限りある財源の中で、効果的かつ効率的な道路整備を実施することを示すものである。	